



「大学入学共通テスト」のプレテストが実施されました

いわゆるセンター試験に代わる「大学入学共通テスト」の導入に向けて、試行調査（プレテスト）が実施されました。全国の高校および中等教育学校約1,900校において、11月13～24日の日程で行われ、その速報等が12月上旬に公表され話題となっています。特に国語と数学の記述式には注目が集まっています。ここでは国語について簡単に見てみたいと思います。

試験時間100分で、大問5問、第1問から順に、記述問題（現代の社会生活で必要とされる実用的な文章）、評論、小説、古文、漢文と並びました。解答用紙は第1問の記述式用と第2問～第5問のマークシート用がうらおもてになっています。

第1問の記述問題は、設問が3つ。解答字数は、50字以内、25字以内、80字以上120字以内です。高校の生徒会部活動規約を題材とした問題で、当該規約と、5名が登場する会話形式の文章、資料が3つ提示されました。注目の記述問題が第1問に来ました。不慣れなこともあり、ここで時間を使ってしまいがちですが、あとの大問4問も決して楽ではありません。時間配分は、重要なポイントになりそうです。

共通テストとセンター試験の概要比較

	共通テスト	センター試験
時間	100分	80分
大問数	5問（記述問題・評論・小説・古文・漢文）	4問（評論・小説・古文・漢文）
評価・得点	200点＋記述問題の段階別評価	200点
記述問題	3問	なし

第2問評論では、本文の文章だけでなく、図や資料・写真が多く掲載されていました。傍線が資料の中に引かれたり、本文に書かれていないことを本文の論拠から推論する問題があったり、例年真っ先に目にするはずの漢字問題がない、といった変化が見られました。この第2問に限らず、知識を直接的に問う問題が全体的に減った印象があります。これは受験生にとって得点源を失うことになるため、注目すべき重大な変化と言えます。

第2問・第3問の正答率が低かった問題（2017年12月4日発表時点）

	問	問の概要	正答率
第2問	問3	テキストに示されている図の内容について、文章との関連において適切にとらえる。	19.4%
第3問	問4	テキスト全体の内容を把握し、冒頭の原作のあらすじとその後のテキストとの関係と比較したり関連付けたりして適切に判断する。	18.6%

第3問小説は、本文の長さはそれほど変わらなかったものの、オスカー・ワイルドの小説のあらすじを踏まえての読解という、少し変わったタイプの文章でした。何より、選択肢の数が3つや4つという設問があったのが特徴的です。

※裏面へ続く

「大学入学共通テスト」のプレテストが実施されました

第4問古文は、なんと本文異同にまつわる問題です。2つの同じ箇所古文本文に加えて、それに関するさらなる古文。古文が苦手という生徒にとっては、精神的な負担感はずいぶん大きかったのではないのでしょうか。こちら例年の問1（語彙）・問2（文法）のような問題はありませんでした。

そして最後の第5問漢文は、漢文本文（『史記』）と、そこに登場する太公望について生徒が調べたことをまとめた文章の、2つの文章が出題されています。設問は問1～問7、一見例年とあまり変わらないように思えますが、問5では、6つの選択肢中「正しいものをすべて選べ」という設問が出ました。こちらの正答率はかなり低く、すべて選べていないと得点できない（＝部分点なし）のは、やはり生徒にとって非常に厳しい条件と言えるかもしれません。

第4問・第5問の正答率が低かった問題（2017年12月4日発表時点）

	問	問の概要	正答率
第4問	問4	テキストに表現された出来事について、文脈に即して内容を適切にとらえる。	20.4%
第5問	問2(ア)	テキストの文脈との関連において、語句の意味を適切にとらえる。	12.5%
第5問	問5	テキスト全体の内容を踏まえて、漢詩の形式と我が国の言語文化における漢詩文の位置を適切に判断する（当てはまる選択肢を全て選択させる問題）	14.3%

第1問から第5問まで、全体の解答数こそ35と例年並みですが、うち3つは記述式です。各大問における文章や資料の数自体も増えており、目を配らなければならないものが多くなっています。それこそが狙いであり、様々な資料を包括的に見渡して読み取り解答する力、思考力・判断力・表現力が総合的に求められていると考えられます。

一方、発表されている正答率を見ると、まだ途中段階ではありますが、かなり低いものも多々あります。試行調査は来年も行われる予定です。今回の結果をふまえて、何をどのように変更するのか、こういった点が改善点なのか、今後の動向をしっかりと見守りたいところです。

センター試験カウントダウン 今年も twitter で実施中！

 <https://twitter.com/KiriharaShoten>

今年も桐原書店公式ツイッターアカウントにて、センター試験までのカウントダウンを実施しています。桐原書店のアプリ「きりはらの森」の動物たちの写真とともに、桐原書店刊『POWERSTAGE』から、毎日1問ずつ出題しています。ぜひご覧ください。

『POWERSTAGE』 <http://www.kirihara.co.jp/tabid/112/pdid/10420300/Default.aspx>



学習に喜びと感動を

 桐原書店

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 4-15-3 住友不動産西新宿ビル 3号館

TEL : 03-5302-7010 FAX : 03-5302-7031 www.kirihara.co.jp